

公共事業再評価調書

主管課：下水道課

1 事業概要	事業名：南風原町公共下水道事業				
	事業種別：公共下水道(雨水)	事業主体：南風原町		当初事業期間：H8年～H17年	
	事業箇所：南風原町	根拠法令：都市計画法・下水道法		事業期間：H8～H30年	
	総事業費(百万円)：3,463	費用内訳：補助6/10		事業量：662.9ha	
(整備目的)	住民の快適で安全な生活環境の確保を目的として、雨水排除施設を整備するものである。				
2 再評価 該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業着手から10年間を経過 <input type="checkbox"/> ②事業着手から5年以内の工事未着手 <input type="checkbox"/> ③再評価後一定期間(年)を経過 <input type="checkbox"/> ④事業の中止				
3 再評価に至 った主な要因	<input type="checkbox"/> ①用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ②調査・設計・施工の困難 <input type="checkbox"/> ③事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦整備効果の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨その他()				
(具体的理由)	下水道事業は広域的に整備を行うため事業規模が大きく事業期間も長くなる。当該事業も事業採択後10年間を経過していることから再評価に至った。				
4 事業の 進捗状況 (H17.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備(ha)	用地取得(千m2)	
	計画	3,463	662.9	—	
	実施済	604	160.7	—	
	率	17.4%	24.2%	—	
5 事業効果の 評価指標	① 浸水の防除 394		① 建設費 161		
(基準年H8年)	年当たり便益計(B) 394		年当たり費用計(C) 161		
単位:百万円/年)	費用便益比 (B/C) = 394/161 = 2.45				
6 事業を巡る 状況の変化	①社会・経済： 泉都那覇市と隣接しており、また津嘉山北土地区画整理等の整備により市街化が進んでいる。 ②地元・自治体： 下水道事業への理解は得られており、特に大きな変化はない。 ④利害関係者： 特になし。(下水道事業は道路を占用しての工事がほとんどである)				
7 事業の必要 性・効率性	①事業の必要性・緊急性・有効性など： 近年の都市化による雨水の流出量の増加に対応し、住民の快適で安全な生活環境を確保するため、整備を推進する必要がある。 ②事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 関連する他事業(区画整理事業等)と連携を図りながら、事業推進する事で効率化を図る。 ③事業効果の発現状況： 計画面積662.9haの内160.7haが整備済みであり、浸水の防除が図られている。				
8 今後の対応 ・見直し	①事業計画等： 土地区画整理事業等により当該排水路用地が確保されることから、浸水被害の防止に向けて現計画を継続する。 ②対住民関係： 特に問題なし。 ③執行体制等： 現体制で執行可能である。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ②事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③事業の中止				